

平成26年 建設業死亡災害事例

No.	月	業種	職種	事故の型	発生状況の概要
			年齢	起因物	
			経験		
1	1月	その他の建設業	作業員・技能者 60歳代 10年以上20年未満	飛来、落下 その他の装置、設備	被災者2名は、現場内の地下において、機械式立体駐車設備（3層）の下段パレット（車を乗せる台）上で停止位置の確認作業をしていたところ、頭上から落下してきた上段パレット（車を乗せる台、約900kg）に押しつぶされ、死亡した。
2	1月	その他の建設業	作業員・技能者 20歳代 5年以上10年未満	飛来、落下 その他の装置、設備	被災者2名は、現場内の地下において、機械式立体駐車設備（3層）の下段パレット（車を乗せる台）上で停止位置の確認作業をしていたところ、頭上から落下してきた上段パレット（車を乗せる台、約900kg）に押しつぶされ、死亡した。
3	1月	建築工事業	防水工 60歳代 30年以上	墜落、転落 屋根、はり、もや、けた、合掌	倉庫の足場3層目の高さに位置するスレートひさし上でシーリングの打設を行っていた被災者が、工具を1階に取りに戻り再度スレートひさし上の作業場所に戻ろうとした際、スレートひさしを踏み抜き、5.5m下の墜落した。
4	2月	建築工事業	現場職員 40歳代 20年以上30年未満	墜落、転落 屋根、はり、もや、けた、合掌	スレート屋根葺き建物の漏水調査のため、屋根上にあがり、スレート板上を歩行していたところ、スレート板を踏み抜き、約6m下へ墜落した。
5	2月	建築工事業	とび工 50歳代 1年以上5年未満	墜落、転落 足場	被災者は、外部足場の解体作業において、足場上で解体材料を上層の者から受け取り、移動して地上の者に受け渡す作業を行っていたところ、踏み板の運搬途中にバランスを崩し、足場3層目の妻側開口部から約4.4m下の地上まで墜落した。
6	2月	建築工事業	営業・販売関連事務員 30歳代 1年未満	その他 起因物なし	営業職である被災者が、出張先の建物屋上から転落死した。直近2か月間に長時間労働の実績があり、これが原因とする自殺である。
7	3月	土木工事業	土工 40歳代 10年以上20年未満	崩壊、倒壊 建築物、構築物	坑内にてL型擁壁の設置作業で、位置、高さのレベル最終調整を行うためパールでL型擁壁を持ち上げ、擁壁とスペーサーのすき間にライナーを挿入していたところ、L型擁壁が倒れ、作業員1名が挟まれた。
8	3月	建築工事業	大工 50歳代 10年以上20年未満	飛来、落下 その他仮設物、建築物、構築物等	小学校改築工事において、3階に仮置きした壁型枠材をクレーンで吊り上げ、4階外壁に建て込もうとしたところ、4階に仮置きした壁型枠材に接触して、4階に仮置きした壁型枠材が落下した。落下した壁型枠材が約3m下の足場上で作業していた被災者に接触して、壁型枠材とともに約4m下に墜落した。
9	3月	土木工事業	技術者 60歳代 30年以上	おぼれ 階段、さん橋	港湾係留施設築造工事の現場において、中央棧橋を台船から引き出す作業中に中央棧橋が転覆した。
10	3月	土木工事業	管理者 40歳代 10年以上20年未満	おぼれ 階段、さん橋	港湾係留施設築造工事の現場において、中央棧橋を台船から引き出す作業中に中央棧橋が転覆した。

	月	業種	職種	事故の型	発生状況の概要
			年齢	起因物	
			経験		
11	3月	土木工事業	作業員・技能者	おぼれ	港湾係留施設築造工事の現場において、中央棧橋を台船から引き出す作業中に中央棧橋が転覆したもの。
			60歳代		
			30年以上	階段、さん橋	
12	3月	土木工事業	作業員・技能者	おぼれ	港湾係留施設築造工事の現場において、中央棧橋を台船から引き出す作業中に中央棧橋が転覆したもの。
			30歳代		
			1年以上5年未満	階段、さん橋	
13	3月	土木工事業	作業員・技能者	おぼれ	港湾係留施設築造工事の現場において、中央棧橋を台船から引き出す作業中に中央棧橋が転覆したもの。
			60歳代		
			30年以上	建築物、構築物	
14	3月	土木工事業	管理者	おぼれ	港湾係留施設築造工事の現場において、中央棧橋を台船から引き出す作業中に中央棧橋が転覆したもの。
			30歳代		
			10年以上20年未満	建築物、構築物	
15	4月	土木工事業	土工	転倒	宅地の造成工事において、パワー・ショベルを運転する被災者が未整地の場所を走行していたところ、パワー・ショベルが転倒した。被災者はパワー・ショベルの運転席から投げ出され、頭部、頸部および骨盤を骨折した。
			60歳代	掘削用機械	
			1年以上5年未満		
16	5月	建築工事業	その他の作業員	はさまれ、巻き込まれ	被災者は建築工事現場内6階において高所作業車を使用し、上部の鉄骨貫通部にロックウールを詰める作業を単独で行っていたところ、被災者が高所作業車の手すり部分と躯体鉄骨に挟まれて死亡した。
			40歳代		
			10年以上20年未満	高所作業車	
17	5月	土木工事業	鉄筋工	飛来、落下	潜函工法によるシールドマシン発進立坑築造工事において、鉄骨鉄筋コンクリート製の函（以下、躯体）の配筋作業中、躯体鉄骨から張り出された鋼製の山形鋼（以下、アングル）による配筋用足場兼鉄筋仮置き架台に鉄筋を載せ、さらに当該足場部分に作業員3名が乗って作業していたところ、アングルが変形し、積載鉄筋が落下して、架台の下で作業中の被災者がその下敷になり死亡した。架台上の労働者も墜落し負傷した。
			30歳代	金属材料	
			10年以上20年未満		
18	5月	建築工事業	とび工	墜落、転落	住宅の屋根吹き替え工事現場で、外部足場の落下防止シートを設置していた被災者が墜落し、死亡した。被災者は保護帽と安全帯を着用していたが、保護帽は被災時に破損していた。
			60歳代	足場	
			30年以上		
19	6月	建築工事業	電工	墜落、転落	線路上で吊架線の新設作業中、吊架線が既設の柱から外れてしまい高架下に垂れ下がった。被災者は当該吊架線を引き上げる作業を行っていたところ、高架下の道路を走行中のトラックに垂れ下がった吊架線が引っ掛かり、当該トラックが吊架線を引きずって走行したため、吊架線を手で保持していた被災者が衝撃により高架橋の手すりを越えて約6.6メートル下の側道に墜落し死亡した。
			20歳代	送配電線等	
			1年以上5年未満		
20	7月	建築工事業	とび工	墜落、転落	被災者含む2名の作業員で、建物の屋上端部からステージ足場上に建柱をロープで降ろす作業を行っていたところ、被災者が墜落した。
			20歳代	建築物、構築物	
			5年以上10年未満		

	月	業種	職種		事故の型	発生状況の概要
			年齢	経験		
			起因物			
21	8月	建築工事業	とび工	30歳代	墜落、転落	新築工事現場で、移動式クレーンを用いて足場の解体工事中、被災者が、桟組足場第8層にてワイヤーの玉掛け及び垂直ネットの処理を行っていたところ、地面まで14.2メートルの高さから墜落した。
			10年以上20年未満			
22	8月	建築工事業	解体工	50歳代	高温・低温の物との接触	被災者は木造家屋解体工事の現場で内装解体や歩行者誘導等の業務に従事した後、同僚の運転で現場を出てしばらくすると、同僚が被災者の様態の異変に気が付き、病院に搬送されたが死亡した。
			1年未満			
23	8月	建築工事業	内装工	50歳代	激突され	鉄製の耐震補強材パネル（高さ206センチ、重さ1.3トン）の搬入作業を行っていたところ、搬入口に段差があったため仮設スロープを作り、1名がチェーンブロックを用いて斜め方向に引き、3名でパネルを支え、台車の方向を調整しながらスロープ上を移動させていたところ、パネルが転倒し1名が下敷きになり死亡した。
			30年以上			
24	8月	土木工事業	配管工	30歳代	はさまれ、巻き込まれ	工事現場に隣接する住宅の玄関先で養生作業を行っていた職長である配管工が、旋回したドラグショベルの旋回体（右側後方部分）と付近にあった電柱との間に挟まれ、死亡した。
			20年以上30年未満			
25	8月	建築工事業	鉄筋工	20歳代	崩壊、倒壊	マンション新築工事現場で、柱筋の地組を行っていたところ、組立中の柱筋（高さ4メートル）6台を立てた状態でクランプ留めしていた架台（単管パイプで組んだやぐら）が転倒し、柱筋配筋作業に従事していた3名の鉄筋工が、鉄筋等の下敷となり、うち2名が死亡した。
			1年未満			
26	8月	建築工事業	鉄筋工	30歳代	崩壊、倒壊	マンション新築工事現場で、柱筋の地組を行っていたところ、組立中の柱筋（高さ4メートル）6台を立てた状態でクランプ留めしていた架台（単管パイプで組んだやぐら）が転倒し、柱筋配筋作業に従事していた3名の鉄筋工が、鉄筋等の下敷となり、うち2名が死亡した。
			5年以上10年未満			
27	8月	建築工事業	とび工	20歳代	墜落、転落	被災者は、地上約12.1mの荷受け用足場の7段目でブレースを取付中に、当該足場上で他の作業者とすれ違うため、被災者が身体を躯体外側に引いたところ、ブレースが片側しか止まっていなかったため、ブレースが外側にはね出しその隙間から1階の土間上に墜落した。
			1年以上5年未満			
28	9月	建築工事業	解体工	40歳代	墜落、転落	金属加工工場解体工事現場で建物のスレート屋根解体作業中、スレート屋根上を移動していた3次下請業者所属の被災者がスレートを踏み抜き、コンクリート床面まで約8メートル墜落して死亡した。
			10年以上20年未満			
29	10月	土木工事業	土工	60歳代	飛来、落下	宅地造成工事現場で、トラックの荷台から敷鉄板を地上に下ろすため、ドラグショベルを使用して敷鉄板を吊り上げようとしたところ、鋼棒がバケットから外れ、敷鉄板がトラックの荷台から滑り落ち、トラック側方の側溝で作業していた被災者が当該敷鉄板の下敷きとなった。
			10年以上20年未満			
30	10月	建築工事業	鉄骨工	60歳代	墜落、転落	倉庫3階の増築工事で、被災者が躯体外階段の本設手すり枠を取り付ける作業を中断し、休憩を取ろうと当該階段を降りていたところ、高さ約8メートルの踊り場から地上まで墜落し死亡した。
			30年以上			

	月	業種	職種	事故の型	発生状況の概要
			年齢	起因物	
			経験		
31	10月	建築工事業	車両系建設機械運転者	転倒	被災者は解体用ブレーカーを用いて鉄筋コンクリート造の建物解体を行っていたところ、解体用ブレーカーが転倒し、解体用ブレーカーと地面との間に被災者がはさまれた。
			60歳代	解体用機械	
			1年未満		
32	10月	建築工事業	とび工	墜落、転落	12階建てマンションの外壁改修工事現場で足場の解体作業を行っていた労働者が足場6層目より建物2階の底に墜落した。
			20歳代	足場	
			5年以上10年未満		
33	10月	土木工事業	貨物自動車運転者	交通事故（道路）	土砂をダンプトラックで砂置場まで運搬する作業中、砂置場で土砂を降ろした後、現場に戻る際、ダンプトラックが法面に衝突炎上した。
			50歳代	トラック	
			30年以上		
34	10月	建築工事業	大工	墜落、転落	工場建屋屋根張替え工事現場で、屋根上で屋根材の張替え作業を行っていた労働者が、屋根の下地材である木毛板を踏み抜き、12m下の建屋内床に墜落し、死亡した。
			60歳代	屋根、はり、もや、けた、合掌	
			10年以上20年未満		
35	11月	建築工事業	とび工	墜落、転落	2Fエレベーターホールに設置した立ちウマに乗って、エレベーターシャフト側に手すり単管を取り付けていた際、被災者が取り付けた手すりに片足を載せて体重をかけ、安全帯フックをかけ直そうとしていたところ、手すりが脱落し、その反動でシャフト内に約6m墜落した。安全帯は2丁がけであり、うち一丁は手すりにかけていたが、手すりの脱落とともに外れた。
			60歳代	開口部	
			30年以上		
36	11月	土木工事業	電工	崩壊、倒壊	水道管の水漏れ箇所の確認等のため約3mの深さまで掘削後、被災者が掘削箇所に入り確認作業を行っていたところ、土砂が崩れ生き埋めになった。
			40歳代	地山、岩石	
			20年以上30年未満		
37	12月	建築工事業	解体工	崩壊、倒壊	RC造5階建てビルの解体作業中、4階の床部で高さ約3m、幅約2.5m、厚み約20cmの躯体の壁倒しを行うため、ハンドブレーカーを使用して壁の下部のはつり作業を行っていたところ、壁が内側に倒れ被災者が倒れた壁と4階の床部分との間に挟まれた。
			20歳代	建築物、構築物	
			1年以上5年未満		

本表の災害は、安全課が平成27年3月までに把握した、東京労働局管内の事業場で発生した平成26年建設業の死亡災害です。

平成26年 運輸業(貨物取扱業を含む) 死亡災害事例

No.	月	業種	職種	事故の型	発生状況の概要
			年齢	起因物	
			経験		
1	1月	道路旅客 運送業	運転者	その他	被災者は、顧客を乗せて運行業務中に就いていたところ意識を失い、車両3台による玉突き事故が発生させた。意識を失った原因は大動脈解離。この疾患の発症に至った背景に、直近でおおむね80時間を超える時間外労働が認められた。
			50歳代	起因物なし	
			20年以上30年未満		
2	1月	道路貨物 運送業	貨物自動車運 転者	交通事故(道 路)	インターチェンジ上り線の進入のためのランプ橋において、トレーラーに荷を積んで東京方向へ向かっていたところ、同トレーラーがガードレールを乗り越え転落し、つぶれた運転席に運転手がはさまれ死亡した。
			30歳代	トラック	
			10年以上20年未満		
3	3月	道路貨物 運送業	作業員・技能 者	激突され	貨物ターミナル駅構内のパニング場内において、コンテナに荷札を付けるため、構内を歩行していた被災者が、後進してきたフォークリフトに激突され、死亡したものの。
			50歳代	フォークリフト	
			5年以上10年未満		
4	4月	道路旅客 運送業	運転者	その他	被災者は宿泊先ホテルで背中に痛みを感じ、自ら救急車両を手配して病院に搬送し入院したが、その後容態が急変し、死亡した。病名は急性大動脈解離。発症に至る背景には、直近1ヶ月で100時間を超える時間外労働が認められた。
			40歳代	起因物なし	
			10年以上20年未満		
5	6月	道路貨物 運送業	運転者	はさまれ、巻き 込まれ	納品後、入門証を返却するためスロープにトラックを止め、トラックから下車し守衛所に向かった際、トラックが動き出し車とフェンスの間に挟まれ死亡した。
			50歳代	トラック	
			30年以上		
6	7月	道路貨物 運送業	事務員	墜落、転落	建屋外階段2階踊り場付近の構築物上部に設けられたエアコン室外機を取り外す作業を行っていた労働者が、高さ2.8メートルの箇所から墜落した。
			60歳代	建築物、構築物	
			5年以上10年未満		
7	7月	道路貨物 運送業	貨物自動車運 転者	墜落、転落	店舗へ食材を配送する業務において、被災者は食材を抱え商業ビルの地下にある居酒屋へ向かって階段を降りていたところ、つまづいて頭部から踊り場へ転落した。
			60歳代	階段、さん橋	
			10年以上20年未満		
8	10月	道路旅客 運送業	バス運転者	交通事故(道 路)	被災者が回送のバスを運転していた際、左カーブでスリップし中央分離帯のガードレールに衝突した。
			40歳代	乗用車、バス、 バイク	
			10年以上20年未満		
9	11月	道路貨物 運送業	貨物自動車運 転者	激突され	ホイールローダーをトラックの荷台に載せるためトラックの荷台後部に道板を掛け、被災者がホイールローダーを運転し道板上を後進で上っていたところ、前輪が脱輪したためホイールローダーが転倒し、被災者がヘッドガード部分の下敷きとなった。
			40歳代	整地・運搬・積 込用機械	
			20年以上30年未満		
10	11月	道路貨物 運送業	運転者	交通事故(道 路)	トラック運転手である被災者が荷受け先に向かう途中、右折のため停車していた前方車両に接触し、右崖下に転落した。災害発生日は雨が降っていた。
			40歳代	トラック	
			20年以上30年未満		

	月	業種	職種	事故の型	発生状況の概要
			年齢	起因物	
			経験		
11	12月	道路貨物 運送業	作業・技能 者	墜落、転落	被災者は構内のプラットホーム上（高さ84センチメートル）で、フォークリフトを使用してパレットの整理をしていたところ、フォークリフトとともにプラットホーム下に墜落し、横倒しになったフォークリフトの下敷きとなった。
		60歳代			
		1年以上5年未 満	フォークリフト		

本表の災害は、安全課が平成27年3月までに把握した、東京労働局管内の事業場で発生した平成26年運輸業（貨物取扱業を含む）の死亡災害です。

平成26年 製造業死亡災害事例

No.	月	業種	職種		事故の型		発生状況の概要
			年齢	経験	起因物	起因物	
1	3月	金属製品製造業	金属加工・金属製品検査工		はさまれ、巻き込まれ	旋盤	被災者が6尺旋盤の清掃作業をしていたところ、稼働中の当該機械に左腕を巻き込まれた。被災者は同日中に病院へ搬送され、緊急手術を受けた。治療を受け症状が安定したため、被災者はリハビリ施設の整った病院へ転院し、左手の機能回復のための診療を開始した。その後、被災者は同病院にてリハビリ中に、肺損傷を原因とする呼吸不全で死亡した。
			70歳以上				
			30年以上				
2	3月	一般機械器具製造業	技術者		その他	起因物なし	設計業務に従事していた被災者が、事業場近くの団地から投身自殺を図った。
			50歳代				
			1年未満				
3	5月	金属製品製造業	管理者		爆発	その他の装置、設備	マグネシウム合金製のノートパソコン用筐体を加工する作業場で、作業員が産業用ロボットのコントローラに作業数読み取り装置をはんだ付けで取付け後、主電源を入れたところ発火した。作業員が消火用の砂をかけたが、火が広がり爆発が起きた。爆発による火災で工場長がやけどを負い、病院で治療後死亡した。
			40歳代				
			20年以上30年未満				
4	7月	輸送用機械器具製造業	作業員・技能者		爆発	引火性の物	台船上でフロート内部を吹き付け塗装中、引火性の物の蒸気ガスが爆発した。フロート内部にいた被災者が、その爆発により台船上に約10メートル飛ばされ死亡し、フロート上にいた別の作業員が火傷を負った。
			30歳代				
			10年以上20年未満				
5	8月	食料品製造業	作業員・技能者		感電	その他の装置、設備	被災者がふるいを高温水を用いて洗浄していたところ、突如頭を押さえながら倒れこんだ。被災者の腕から背中にかけて電撃傷があった。
			40歳代				
			10年以上20年未満				

本表の災害は、安全課が平成27年3月までに把握した、東京労働局管内の事業場で発生した平成26年製造業の死亡災害です。

平成26年 第三次産業死亡災害事例

	月	業種	職種	事故の型	発生状況の概要
			年齢	起因物	
			経験		
1	1月	教育研究業	技術者	その他	恒常的な長時間労働及びそれを背景としたノルマの不達成等により精神障害を発病し、自宅マンションから墜死したもの。なお、発病前1か月において160時間以上の時間外労働に従事していた。
			50歳代		
			30年以上	起因物なし	
2	1月	その他の事業	技術者	その他	被災者は自宅で縊死した。縊死に至った背景として、業務量の増加、トラブル対応等に伴い、急激な時間外労働の増加等の心理的負荷がかかっていた状況が認められた。
			50歳代		
			30年以上	起因物なし	
3	2月	卸売業	作業員・技能者	交通事故(道路)	葬儀の祭壇準備を終えて帰社しようとした被災者1人で千葉県内の国道上り車線を普通貨物自動車で行進中、停車している大型貨物自動車に追突し、死亡した。
			60歳代		
			10年以上20年未満	乗用車、バス、バイク	
4	3月	その他の事業	プログラマー	その他	自宅の階段に首をつり自殺した。推定原因は仕事量の著しい増加により、1か月あたりの時間外労働が100時間以上となり精神疾患により自殺したものである。
			40歳代		
			20年以上30年未満	起因物なし	
5	3月	その他の事業	その他の職種	その他	被災者は自宅で倒れて救急搬送されたが、翌日に死亡した。傷病名はくも膜下出血。発症に至る背景として、直近2ヶ月でおおむね80時間以上の時間外労働が認められたとともに、ほぼ毎日のように自宅での作業が認められた。
			50歳代		
			30年以上	起因物なし	
6	4月	その他の事業	警備員	交通事故(道路)	高速道路上で、故障車対応作業の後方警戒業務を行っていた労働者がタンクローリーにはねられ、死亡した。
			50歳代		
			10年以上20年未満	トラック	
7	4月	その他の事業	管理者	その他	取引先との会議出席後、執務室入り口で倒れているのを同僚に発見され、救急搬送されたが、翌日死亡した。新会社設立準備等の担当となり、長時間労働を行ったことを原因としてくも膜下出血を発症したものであった。なお、発症前2か月平均の時間外労働時間数は92時間16分であった。
			40歳代		
			20年以上30年未満	起因物なし	
8	5月	清掃と畜業	清掃員	墜落、転落	被災者は、ビル外面窓ガラス清掃をブランコ作業で行っていたところ、吊り元が外れブランコ台から墜落したが、ライフラインにより地面への墜落は避けられたものの、宙づり状態となった。被災者は約1時間後に救助されたが、搬送先の病院で死亡が確認された。
			40歳代		
			20年以上30年未満	その他の用具	
9	6月	医療保健業	その他の職種	交通事故(道路)	集配業務終了後にバイクで帰社途中、交差点内を直進した際、前方から右折して来たワンボックスカーと衝突し死亡した。
			40歳代		
			1年以上5年未満	乗用車、バス、バイク	
10	6月	清掃と畜業	清掃・と畜業	墜落、転落	ビル外面窓ガラス清掃作業をブランコ作業を行っていた労働者が墜落し、下方にいた労働者に激突した。墜落した労働者と激突された労働者が死亡した。
			40歳代		
			10年以上20年未満	その他の用具	

	月	業種	職種	事故の型	発生状況の概要
			年齢	起因物	
			経験		
11	6月	清掃と畜業	清掃・と畜業	墜落、転落	ビル外面窓ガラス清掃作業をブランコ作業を行っていた労働者が墜落し、下方にいた労働者に激突した。墜落した労働者と激突された労働者が死亡した。
			20歳代		
			1年以上5年未満	その他の用具	
12	9月	社会福祉施設	作業員・技能者	転倒	訪問介護のサービスのため、利用者宅の台所で昼食の準備をしていた時、足を滑らせ後ろに転倒し頭部を打った。頭部の損傷により一時的に動けなくなったが、少し休んだあと、タクシーを利用して自宅に戻ったが、帰宅後、被災者の頭痛の状況が悪化したため、救急車で搬送された。病院に着き、医師の質問に答えるが、検査途中で意識不明となり、その後死亡した。
			70歳以上	起因物なし	
			10年以上20年未満		
13	10月	清掃と畜業	その他の職種	感電	被災者が、ビル内の変電設備の受電盤の検針を行っていた際、受電盤の上方に設置された絶縁防護のない断路器（6600V）と近接して感電死亡した。
			70歳以上	電力設備	
			5年以上10年未満		
14	10月	社会福祉施設	その他保健医療の職業	交通事故（道路）	訪問介護終了後、所属事業場に戻るため自転車で車道を走行中、左折のため停止している車を右側から追い越そうとしたところ、後方から走行してきた大型トラックにはねられた。
			50歳代	トラック	
			1年以上5年未満		
15	11月	清掃と畜業	作業員・技能者	はさまれ、巻き込まれ	古タイヤの粉碎を行う作業場で、運転中の粉碎機のブレード部分に挟まったタイヤを取り除くため、手すりから身を乗り出して足で押し出そうとしていたところ、粉碎機に巻き込まれた。
			40歳代		
			1年未満	混合機、粉碎機	
16	11月	その他の事業	建設現場誘導員	はさまれ、巻き込まれ	埋設ケーブル撤去後の道路の復旧工事中、転圧作業を行っていた締固め用機械（コンバインローラ）がバックで移動したところ、作業帯の先の交差点にいた警備員が轢かれた。
			70歳以上		
			1年未満	締固め用機械	
17	11月	清掃と畜業	清掃員	交通事故（道路）	被災者ら4人はワゴン車で移動中、高速道路のジャンクションに入ろうとして減速したところ、後方から大型トラックに追突された。後部座席に乗っていた被災者が死亡し、他の3名がけがをした。
			40歳代	トラック	
			5年以上10年未満		
18	11月	清掃と畜業	清掃員	墜落、転落	11階建てのビルの屋上から吊ったブランコ上でビルの外窓を清掃中に、ブランコのメインロープをかけていたグレーチングが建物から外れたため、ブランコごと墜落した。
			30歳代		
			5年以上10年未満	建築物、構築物	
19	12月	卸売業	運転者	交通事故（道路）	ゴミ収集車は右折、トラックは直進するため、交差点に進入したところ、交差点内で出会い頭に衝突し、ゴミ収集車の運転手が車外に投げ出され、全身打撲により死亡し、トラック運転手は肋骨の骨折等により負傷した。
			40歳代	トラック	
			5年以上10年未満		

本表の災害は、安全課が平成27年3月までに把握した、東京労働局管内の事業場で発生した平成26年第三次産業の死亡災害です。

平成26年 その他の産業死亡災害事例

	月	業種	職種	事故の型	発生状況の概要
			年齢	起因物	
			経験		
1	3月	林業	作業・技能者	激突され	積雪で折れた樹木を伐採中、チルホールという牽引具で当該樹木を引っ張ったところ、当該樹木が倒れ被災者が下敷きになった。
			20歳代	立木等	
			1年未満		
2	8月	農業	作業・技能者	墜落、転落	被災者は街路樹に登り剪定作業中、一か所の剪定が終わり同じ木の他の箇所を剪定するため、移動しようと枝に足を掛けたところ、その枝が折れ高さ約3メートルから墜落し、道路のガードレール部分に腹部を強打し死亡した。
			50歳代	立木等	
			1年以上5年未満		

本表の災害は、安全課が平成27年3月までに把握した、東京労働局管内の事業場で発生した平成26年その他の産業の死亡災害です。